

オプション検査のご案内

2026.4.1

対象部位	検査名	検査内容	検査方法						検査の説明
			MRI	CT	X線	超音波	血液	その他	
脳	頭部MRI・MRA検査	頭部MRI・MRA検査	●						脳腫瘍・脳梗塞や脳萎縮・脳出血のリスクとしての動脈瘤の有無などを調べます。
甲状腺	甲状腺セット検査	視触診＋甲状腺超音波＋ 甲状腺ホルモン検査＋結果説明				●	●	診察	甲状腺の病気は女性に多くみられます。超音波検査では甲状腺を観察します。甲状腺がんなどの発見に有効です。また血液検査では甲状腺機能を調べます。
	甲状腺ホルモン検査	甲状腺ホルモン検査（TSH、FT3、FT4）					●		
肺	肺がん検査	腫瘍マーカー：CEA、シワ、ProGRP、SLX、SCC					●		肺がんは死亡率が高く、がん死亡原因の男性で第1位、女性で第2位となっています。タバコを吸う方はもちろん、身近に喫煙者のいる方も発生率が高いといわれています。小さながんや隠れたがんは普通のレントゲンでは見つけにくい 肺がん検査＋低線量胸部CT検査 をおすすめします。低線量胸部CT検査の放射線被ばく線量は、通常胸部CT検査の1/10程度です。肺がん住民検診に導入された地域では、診断率の向上が報告されています。
	喀痰細胞診検査	喀痰細胞診						喀痰	
	低線量胸部CT検査	低線量胸部CT		●					
	胸部X線検査	胸部X線検査（1方向） 胸部X線検査（2方向）			●				
内臓	腹部超音波検査	腹部超音波検査（肝臓、胆のう、すい臓、 腎臓、脾臓、大動脈）				●			肝臓・胆のう・すい臓・腎臓などの形態や異常（脂肪肝や胆のうポリープ、臓器内の腫瘍や結石など）の有無を調べます。
心臓	BNP検査	心不全血液検査					●		心不全の有無や程度を、血液検査で調べます。
食道 胃	食道がん検査	腫瘍マーカー検査：CEA、SCC					●		CEAは主に胃がん、SCCは主に食道がんを調べる検査です。
	胃がん検査						●		
	ペプシノゲン検査	血清ペプシノゲン検査					●		ペプシノゲン検査では萎縮性胃炎があるかどうかを調べます。またピロリ菌検査とペプシノゲン検査を組み合わせることで「 胃がん発生リスク 」の程度がわかります。
	ピロリ菌検査	ヘリコバクターピロリ菌抗体検査					●		胃カメラ検査です。
	胃部内視鏡検査	胃部内視鏡検査						内視鏡	
肝臓	肝がん検査	腫瘍マーカー：AFP、PIVKA-II					●		主に肝細胞がんを調べる検査です。
	肝炎ウイルス検査	HBs抗原、HCV抗体					●		肝がんのリスクであるB型肝炎、C型肝炎ウイルス感染の有無を調べます。
胆のう 胆管 すい臓	胆嚢がん、胆管がん 膵がん検査	腫瘍マーカー：CEA、CA19-9、 エラスターゼ1、DUPAN-2					●		主に胆嚢がん、胆管がん、膵がんを調べる検査です。
	腹部MRI検査	MRCP検査（MR胆管膵管撮影）	●						胆のう、胆管、膵管を観察する検査です。特に一般的に異常を発見しにくい 膵がんについて早期発見 することが期待できます。
大腸	大腸がん検査	腫瘍マーカー：CEA					●		大腸がんのスクリーニング検査です。便潜血が陽性の場合は、精密検査としての 大腸内視鏡検査 実施施設にご紹介させていただきます。
	便潜血検査	便潜血2回法						便	
腸（消化管）	腸内フローラ	採便						便	腸内細菌を調べ腸内環境を評価する検査
男性 前立腺	前立腺がん検査	腫瘍マーカー：PSA					●		中高年の男性に急増している前立腺がんの可能性を調べる血液検査です。特に50歳以上の方におすすめします。 がんマーカー検査の中でも特に有用性の高い検査 です。
女性 乳房	乳腺超音波検査	乳腺超音波検査				●			女性のがん罹患率第1位。約11人に1人が乳がんになると言われています。早期発見できれば95%が治癒すると言われており、乳房温存手術も可能です。40歳未満の方には乳腺超音波検査、40歳以上の方にはマンモグラフィ検査をおすすめします。また、診察や結果説明をご希望の方は『乳がん診察』を併せてお申し込み下さい。
	マンモグラフィ検査	マンモグラフィ（1方向X線検査） マンモグラフィ（2方向X線検査）			●			診察	
	乳がん診察	問診、視触診、結果説明							
	乳がんセット1	乳腺超音波・マンモグラフィ（1方向X線検査）			●	●			
	乳がんセット2	乳腺超音波・マンモグラフィ（2方向X線検査）			●	●			
女性 子宮 卵巣	子宮頸がん 卵巣がん検査	内診＋子宮頸部細胞診（医師による採取）＋経膈超音波検査＋腫瘍マーカー				●	●	細胞診	近年、20代の若い女性にも子宮頸がんが増えています。経膈超音波検査は、子宮筋腫や卵巣腫瘍の発見にも有用です。子宮頸がんの99%以上がHPV（ヒトパピローマウイルスからの持続感染が原因とされています）。
	子宮がん検査	内診＋子宮頸部細胞診（医師による採取）＋経膈超音波検査				●		細胞診	
	子宮頸がん HPV検査	内診＋子宮頸部細胞診（医師による採取）＋経膈超音波検査＋HPV検査				●		細胞診他	
全身	PET/CT検査	PET/CT検査						PET/CT	全身スキャンによるがん発生臓器の有無を調べます。
骨粗鬆症	骨密度測定検査（DXA法）	骨密度測定検査 （腰椎＋両側大腿骨頸部）			●				X線で腰椎と大腿骨頸部の骨密度を測定し、骨粗鬆症の危険性を調べます。骨量は20代をピークに年齢とともに減少するため、若い内から対策が必要です。男女ともお受けいただけます。
女性 更年期障害 骨粗鬆症	ソイチェック	更年期障害：尿中エクオール検査						尿	ソイチェックでは理想的な量の「エクオール」が作られているか尿で測定します。エクオールは女性ホルモンと似た働きをし、骨粗鬆症との関係性が指摘されています。
内臓脂肪	内臓脂肪測定	CT検査		●					内臓脂肪と皮下脂肪の量や割合を調べ、内臓脂肪型肥満かどうかを判定します。
頸動脈動脈硬化	頸動脈超音波	頸動脈硬化：頸動脈超音波				●			頸動脈の狭窄やプラークなどの有無などを超音波で調べます。
動脈硬化	ABI・CAVI	動脈硬化検査：ABI・CAVI						ABI・CAVI	下肢動脈の閉塞と血管の硬さを調べます。
脳梗塞・心筋梗塞	Lox-index	脳梗塞・心筋梗塞					●		将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症危険度（リスク）を調べる検査です。
認知症機能	MCI	認知機能検査					●	●	軽度認知障害の発症リスクを調べる血液検査です。
生活習慣病	マイナィンゲール	生活習慣病リスク検査					●	●	生活習慣病リスクを見える化する検査です。
アレルギー	Viewアレルギー-39	アレルギー抗体血液検査					●		ハウスダスト・スギ・ネコ・小麦・卵白等39項目のアレルゲンを調べる血液検査です。